

構成員名	令和4年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参加者・連携団体	成果・実施内容	今後の方向性	
信州諏訪農業協同組合	<p>【湖沼の対策】</p> <p>①                      (1) 下諏訪町「環境の日一斉清掃」参加 5月29日(日)                      (2) 下諏訪町「秋季一斉清掃」参加 10月16日(日)                      (3) 岡谷市「諏訪湖周辺一斉清掃」参加 10月16日(日)                      (4) 諏訪市「春の全市一斉清掃」参加 5月29日(日)                      (5) 諏訪市「秋の全市一斉清掃」参加 10月16日(日)                      ② 手作業によるヒシ除去作業に参加 7月8日(金)</p> <p>【流出水対策】</p> <p>① 土壌診断事業による適正施肥の推進                      ② わたしの肥料による減肥の取組拡大                      ③ 肥料・農薬等かけ流し防止                      ④ 環境にやさしい農業への取組                      ⑤ GAPへの取り組み</p>	<p>① 全役職員</p> <p>② 職員</p>	<p>① 役職員全員*が環境整備に参加 (*諏訪湖周に勤務または居住)</p> <p>② 要請に対応</p> <p>① 化学肥料の使用量低減のため土壌診断事業の推進(土壌診断に対する助成事業開始)                      ② 個人単位施肥設計 オリジナル肥料取扱増                      ③ JA広報誌、各種指導会による止め水管理の徹底                      ④ JA助成(水稲 レス50+カバークロープ)・フェロモントラップの情報発信で適期防除を推進                      ⑤ 指導会開催による生産者への理解促進</p>	<p>今年度もコロナ禍の影響で一部活動が制限され、参加を見合わせることもありましたが、参加可能な状況になれば、多くの活動に積極的に参加をして参りたいと考えています。                      また、一昨年に行った諏訪湖周をウォーキングしながらの清掃活動は、本年度実施することができませんでしたが、次年度は実施して参りたいと思います。</p> <p>「みどりの食料システム戦略」やSDGsなど環境を重視する動きが加速しています。環境負荷軽減に向けて総合的な取組による持続可能な農業の推進を進めます。</p>	
諏訪湖漁業協同組合	<p>① 漁場環境保全対策                      漁場環境の回復に向け、ヒシ除去、清掃活動などの取組を行う。</p> <p>② 食害軽減対策                      ブラックバス・ブルーギル等の外来魚及びカワアイサ・カワウ等の魚食性鳥類対策として外来魚駆除や魚食性鳥類の追払いを実施する。                      ドローンの活用等による新たな追払い方法の試行等を行って、鳥類による食害への新たな対応策について検討するとともに、魚食性鳥類の生態調査を実施し、効果的な対応策についても検討をすすめる。</p> <p>③ IoTを用いた諏訪湖水質観測プロジェクト(Suwa Smart Society 5.0)</p>	<p>① 組合員</p> <p>② 組合員</p> <p>③ 榊旭、諏訪市産業連携推進室、信州大学他</p>	<p>① 漁場の整備                      ・ヒシ除去                      ・清掃活動 各船着場の清掃・草刈・ヒシ除去等                      浮遊ゴミ・沈木除去                      アダプトプログラムによる担当区間の清掃                      砥川河口河川敷の草刈</p> <p>② (1) 外来魚駆除                      ・刺網や電気ショック船を用いた駆除作業。                      (2) 魚食性鳥類追払い                      (3) 魚食性鳥類対策手法の検討</p> <p>③ 水質観測プロジェクト                      ・測定機器及び体制の確立                      ・信大とのデータ連携による検証</p>		
諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	<p>① 他の団体等とも連携して、諏訪湖及び湖周小河川でのカヤック・カヌー体験講習の実施(5月16日、7月18日、8月29日、10月2日)</p> <p>② 湖畔及び市内河川清掃(ゴミ拾い)</p> <p>③ 諏訪市内を流れる河川を水辺から見直し、【水郷の街】として、その復活の可能性を探る。</p> <p>④ 3年目の「諏訪湖の日」のイベント10月2日カヤック・カヌー漕ぎあるき企画</p>	<p>① 漕ぎあるきプロジェクト</p> <p>② NPO 法人 絆 JAPAN</p> <p>③ 諏訪湖カヤック</p>	<p>湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街・学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を探る。                      ※河川管理者との連携・意識の共有を持ちたい。</p>		

構成員名	令和4年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果・実施内容	今後の方向性	
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	<p>① 湖岸清掃：4月～3月（10回） ・毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。 また、町による町内一斉清掃活動へも協力。（5月、10月） 【7月、2月は悪天候のため中止】 【8/16は花火大会が分散開催のため中止】 【5/29、10/16の一斉清掃は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模縮小】</p> <p>② 水辺のごみ調査：4月～11月（4回） ・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。 【4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 【7月は悪天候のため中止】</p> <p>③ アレチウリの除去作業：4月～9月（3回） ・湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。 【4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 【7月は悪天候のため中止】 【8/16は花火大会が分散のため中止】</p> <p>④ 諏訪湖浄化講演会の開催 令和5年1月28日（土）に開催。</p> <p>⑤ 小学生に対する環境学習 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】</p> <p>⑥ 諏訪湖クリーン祭の開催：8月11日（木・祝） 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ・各団体によるパネル展示、記念品配布を通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。</p>	<p>① ・②・③・④ 下諏訪町民、湖浄連会員等</p> <p>⑤ 下諏訪町内小学生</p> <p>⑥ 下諏訪町民、湖浄連会員、各種団体等</p>	<p>① 諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につながった。</p> <p>② 諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化につなげていく資料になった。</p> <p>③ 湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につながった。</p> <p>④ 諏訪湖に関する講演会を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会とする。</p> <p>⑤ コロナのため中止</p> <p>⑥ パネル展示や記念品配布を通して、参加者に楽しみながら諏訪湖とふれあいを持ち、諏訪湖に親しんでもらった。</p>	<p>今後も新型コロナウイルス感染症対策を実施し、引き続き諏訪湖清掃や、各種行事、環境学習等を通して、諏訪湖浄化のために活動していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染対策のため活動が制限される中でしたが、これからの活動が美しい諏訪湖を次の世代へ受け継がれていく礎になるように活動を進めていきます。</p>
諏訪湖クラブ	<p>① ヒシ除去作業への協力（長野県の設定時期）</p> <p>② 全国一斉水質調査に参加（世界環境デー6月6日、諏訪湖・天竜川水系30地点を担当。「信州水環境マップネットワーク」による長野県内全域の水質状況マップを作成。</p> <p>③ 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局に参加、事務局会議に出席（2か月に1回）</p> <p>④ 諏訪湖浄化関連事業：ナノバブルを利用した諏訪湖の浄化実験の実施（平成29～30年度）結果を参考にして、沿岸域での水質・底質浄化計画を策定し、関係自治体、関連民間企業の協力を得て実施に向けての作業を行う。</p> <p>⑤ 中学生、一般向け諏訪湖読本「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」（2020年印刷済み）の配布とメディアとの連携による諏訪湖環境保全推進活動の実践的取り組み</p> <p>⑥ 理事会（毎月1回）の開催と年1回の総会開催</p>	<p>① 若干名</p> <p>② 8名＋長野県内30団体</p> <p>③ 事務局会議4名参加、諏訪湖通信編集2名</p> <p>④ 会員10名、関連自治体、民間企業</p> <p>⑤ クラブ員全員</p>	<p>① ヒシの繁殖現状を把握、課題を理解</p> <p>② 全国運営委員会に顧問として参加、長野県内の水質マップを運営、約30団体により、約380地点での測定を行い、長野県水環境マップを作製する。結果は各地の環境フェアにて公開、参加者の拡大を図る。</p> <p>③ 毎回の事務局会議で推進会議の運営について意見交換し、毎月発行の「諏訪湖通信」編集に協力、諏訪湖に関わる情報を紹介する</p> <p>④ 昨年度までの、湖水の上下循環システムの手法とナノバブル利用の有効性等の成果を基礎にして、現実の諏訪湖浄化への適用課題を整理し、諏訪湖沿岸域浄化への現実的適用案を検討したが、実施は見送られた。</p> <p>⑤ 2020年に完成、印刷した「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」を増刷し、続編として「オオワシグルの記録」を作成、印刷し、諏訪圏</p>		

構成員名	令和4年度活動実績				構成員へメッセージ			
	活動の内容及び実施時期		参加者・連携団体	成果・実施内容		今後の方向性		
			⑥理事会は毎回10名前後が出席	域の中学校、高校、大学等に広く配布し、活用を進めた。同時に諏訪地域のメディア、諏訪市立四賀小学校と協力し、流域下水道と私たちの暮らしについて、LCVでの映像番組の作成、放映(2022年1月～6月)、地元新聞による同様記事の特集掲載、諏訪湖環境保全意識向上の広報活動を行った。 ⑥ 理事会は拡大理事会として会員の参加は自由とし、会員以外の出席もあり、地域の課題等について意見交換を行い、他団体、地域自治体との協働活動への参加を進めている				
諏訪湖白鳥の会	活動日		活動内容（横河川河口）	人数	左記のとおり	白鳥飛来地の環境整備により、湖岸来訪者に良好な景観を提供し、諏訪湖への理解を深めてもらう。	同左	
	4.5.29		草刈り、ゴミ拾い	4人				
	4.7.3		草刈り、ゴミ拾い	4人				
	4.8.7		草刈り、ゴミ拾い	4人				
	4.10.16		草刈り、ゴミ拾い	4人				
	4.10.20		草刈り	3人（他に県・市数人）				
	4.12.22～5.2.24		白鳥の観察、記録	毎朝1～2人				
(一社) 諏訪観光協会	①通年でのスイッチの取り組み		①連携：岡谷市観光協会、下諏訪観光協会、諏訪商工会議所 ③連携：諏訪商工会議所、諏訪市 ④主催：サマーナイト花火実行委員会	①令和4年度年間のスイッチ認定者は、903名（案内所認定者数 岡谷 385人、下諏訪 179人、諏訪 339人） 令和3年10月からの累計認定者数は、1380人（岡谷 568人、下諏訪 238人、諏訪 574人） ⑥8月24日～27日2泊3日でSUWA一ヶーション事業の一つとして、親子ワーケーションモニターツアーを実施。16名参加（内訳：大人7名、小人9名）諏訪湖を活用した取り組みとして、諏訪湖環境学習、親子でのスワカヤックを実施。	①スイッチについては、令和5年度も継続実施。諏訪湖周辺から街中への流入を図る取り組み検討必要。 ⑥モニターツアーについては、令和4年度にて終了。諏訪湖での体験プログラムの開発については、諏訪市の観光ランドデザインに関連して開発されるプログラムにも注視。	afterコロナを迎える中、全国的に観光が再始動します。現在、諏訪湖周サイクリングロードが整備されています。観光並びに賑わい創出に生かして参ります。		
	②諏訪湖開き（神事） 4月11日八劔神社にて実施							
	③ニコニコ超会議 2022年4月30日 初島周辺にて開催							
	④サマーナイト花火の実施 7月24日～31日、8月16日～27日							
	⑤わかさぎ釣り安全祈願祭（神事） 10月11日諏訪湖レジャーセンターにて実施							
	⑥諏訪湖での体験プログラムの開発							
建設業協会諏訪支部	・河川愛護活動（諏訪湖アダプトプログラム）の実施 6月、8月、10月 その他、会員企業によるアダプトプログラムの実施		・河川愛護活動への参加者は延べ25名	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化				
	① 10月10日(日・祝) 他団体と協力 60名参加 諏訪湖創生ビジョン参加 諏訪湖畔のゴミ拾いや、ボートやカヤックに乗船しての、湖上および流入河川のゴミ収集活動 ② 3月21日(火・祝)、ヨットハーバーから間欠泉までの波打ち際にてゴミ拾い活動 他団体と協力 45名参加予定		諏訪湖ライオンズクラブ会員ならびに諏訪地域の青少年とともに参加予定	① 活動について 諏訪湖は、長野県中部の諏訪盆地に位置する、面積は12.81平方キロメートルで、長野県内最大の湖沼であります。諏訪湖はかつて非常に水質のよい湖であり、江戸期には琵琶湖や河口湖からの蜆が放流され、漁業も行われていました。 しかし、戦後の高度経済成長期にかけて、農				

構成員名	令和4年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果・実施内容	今後の方向性	
			<p>地からの化学肥料由来の栄養塩類や生活排水などにより湖の富栄養化が進み、過栄養湖へと変化しました。</p> <p>特に1970年代から80年代にかけては、ユスリカやアオコのマイクロキスティスが大発生し湖面が緑色になり、悪臭が漂い発泡するなどといった環境悪化が見られました。</p> <p>水質悪化の要因は沢山ありますが、流入河川が30を超え多いにも関わらず、流出河川が天竜川のみであり、かつ集水域が広く、各流入河川の汚染物質が溜まり易い構造になっているからであります。</p> <p>その後、1979年から1993年にかけて諏訪湖流域下水道の整備が進んだことや、市民による水質改善活動の結果、諏訪湖の水質は大幅に改善されました。しかし、それでもなお昭和初期の姿を取り戻すまでには至っておりません。</p> <p>「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現に向けた「諏訪湖創生ビジョン」が2018年に策定され、当クラブでも諏訪湖創生への思いを共有し、例年清掃活動を行っています。</p> <p>本年度も諏訪湖美化活動を中心に据え、10月10日(日・祝)メインアクティビティ例会として、諏訪湖畔のゴミ拾いや、ボートやカヤックに乗船しての、湖上および流入河川のゴミ収集を行いました。</p> <p>当日はクラブ会員のほかに、県諏訪地域振興局や諏訪商工会議所、諏訪二葉高校生、諏訪清陵高校OB約60名が参加。活動には、NPO法人諏訪市セーリング協会と諏訪湖カヤックにも協力いただき、SUWAガラスの里から石彫公園までの湖岸やジョギングロードのゴミ拾い、ボートでの初島周辺のゴミ収集、カヤックでの湖岸や流入河川に浮かぶゴミ拾いも行いました。</p> <p>約2時間の活動で、ボートとカヤックの湖上ゴミ700リットル、徒歩での湖周ゴミ100リットルを回収。</p> <p>初めて参加した高校生は、流入河川に布団や服、アウトドア用品が捨てられていることに驚き、心を痛めておりました。大人が捨てたゴミを高校生のボクらが拾うなんて……。そんなつぶやきも聞こえました。</p> <p>高校生はもとより私達とっても、湖上から眺める郷土の姿は非日常的な景色として目に映り、喜びも悲しみも、そして苦しみも全て懐深く受け止めてくれる大きな存在でありました。</p> <p>太古の昔から、諏訪湖は人々の暮らしと密接な繋がりのある存在であり、その恩恵を受けながら暮らしが営まれてきた歴史がある諏</p>		

構成員名	令和4年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果・実施内容	今後の方向性	
			<p>訪湖。今後も周辺団体に広く呼びかけ、美化活動を通じて人々の絆を深め、美しい環境を未来へ引き継いでいきたいと思います。</p> <p>*今回のこの活動は、ライオンズクラブ国際協会長野県地区において、称賛されるべき活動として表彰されました。</p>		
<p>一般社団法人 大昔調査会  曾根遺跡研究会</p>	<p>1) 「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第3集」作成 「日本遺産：星降る中部高地の縄文世界」を構成する文化財（遺跡・史跡）及び周辺観光スポットを紹介するウォーキングガイド第3集作成事業（3月末完成予定） ⇒ 市民の学習や観光客の見学等に活用</p> <p>(2) 「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座 （諏訪市博物館と共催） 当面は、オンライン講座を併用して開催</p>	<p>(1)ウォーキングガイド第2集の原案作成のため、会員・市民が参加</p> <p>(2)「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座（諏訪市博物館等と共催）</p>	<p>(1)「日本遺産：星降る中部高地の縄文世界」を構成する文化財（遺跡・史跡）及び周辺観光スポットを紹介するウォーキングガイド（第3集）を作成(8,000部) 「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第3集」作成・完成→6市町村などに配布（2月末）⇒毎号とも好評にて、市民の学習や観光客の見学等に活用されている。</p> <p>(2)諏訪市博物館と共催する「すわ大昔フォーラム」等について、対面及びオンライン方式にて計画したが、新型コロナウイルス感染症蔓延により中止・延期が相次いだ。しかし関係機関や発表者との連携により、地域の歴史文化を題材として、第29回～第32回までの4回が実施できた。 ⑳：映画「ものがたりをめぐる物語」上映会 ㉑：講演会「和風モダニズムの建築美・諏訪市文化センター」 ㉒：シンポジウム「考古地域学を学ぶ 戸沢充則の世界」 ㉓：講演会「仮説・五本目の御柱」</p>		
<p>株みのり建設 環境事業部</p>	<p>ヒシと周辺地域の雑草や霧ヶ峰のススキ等の刈草を用い、持続可能な循環型社会の実現に向けた研究を実施。 通年：食品製造会社からの動植物性残さ、学校給食などの生ごみ、地域の草木類や牛ふんを原料にした堆肥づくり。 夏期：ヒシの受入、堆肥化</p>	<p>地域の子供達、農業者、環境活動参加者</p>	<p>諏訪湖の有機物資源の農地還元。</p>	<p>ヒシ堆肥、食品リサイクル堆肥の利用による資源循環の輪を大きくしたい。普及活動。</p>	

構成員名	令和4年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参加者・連携団体	成果・実施内容	今後の方向性	
あってもいい夢工場 湖の驛プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工渚 水辺づくり（岡谷市湊）</li> <li>コロナの状況により、秋ごろに実施予定</li> <li>小石等の移動作業（以降毎週日曜日に作業を行う予定）</li> <li>イベント（マス・うなぎの放流、つかみ取り）を行う予定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○元気づくり支援金事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪湖ストーリー作成</li> <li>・一般市民対象のワークショップ開催（6/22(火)から毎月1回開催）</li> </ul> </li> <li>※新型コロナ対策優先にて実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの夢を叶えよう！とスタートし4年、ボランティア活動で大人自身が楽しみ喜びに発展し、盛り上がっている。また、各方面から賛同や励ましの声が寄せられるようになった。特に人工渚の活用について関心が強まって参りました。</li> </ul>		
一般社団法人 諏訪湖ミズベリング振興協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①延期になっているミズベリング会議の開催</li> <li>2022 水辺リング インスパイヤフォーラム</li> <li>6月21日(火)東京ボートシティー竹芝 5名参加 全国300名</li> <li>②全国一斉の水辺で乾杯(2022)を実施</li> <li>2022 7月7日7時7分 参加者約50名</li> <li>② 水辺の社会実験（8月中棧橋海鮮居酒屋）利用者約500名</li> <li>④水辺での新しいアクティビティを考える実験（免許不要2ばりきゴムボート）</li> <li>○新規事業 諏訪湖専用ヒシ刈り船試作導入</li> <li>2023年度より稼働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミズベリングに興味のある方</li> <li>・一般参加者</li> <li>・事業者</li> <li>・他行政関係</li> <li>・サポート</li> <li>・ミズベリングプロジェクト事務局</li> <li>・国土交通省水管理・保全局</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定の許可取得を目標に、賑わいのあるまちづくりのためのミズベリング会議の再開 動画配信もあり全国の行政関係者・他水辺に関心のある方が視聴</li> <li>②全国の水辺リングプロジェクトに合わせ諏訪湖でも開催おんばしらの打上げの方達の参加</li> <li>③民間活力の積極的な参画で、水辺の社会実験として居酒屋を企画 大成功</li> <li>④地域経済活性化のための観光振興として水辺の新しい活用の可能性を考え2馬力ボートの提案</li> <li>④ 日本で一台の諏訪湖ヒシ刈り船を導入して民間も協力して行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やっと知事を含めて諏訪湖の危機感と将来の夢が見え始めて来た。</li> <li>全国の水辺リングプロジェクトの情報をお願いながら左記の内容を深めて行きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒシ刈り船どこへでも行きます。</li> <li>ご協力ください。</li> </ul>
長野県ボート協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>4/24 諏訪湖ロングレース</li> <li>5/21, 22 信毎諏訪湖レガッタ</li> <li>8月 漕艇場周辺の水草除去</li> <li>9/4 下諏訪レガッタ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大会出場者(学校、地域住民その他)</li> <li>②長野県ボート協会役員</li> <li>③地元中学・高校ボート部員、地域住民など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ボート大会、イベントの開催により、諏訪湖とスポーツに親しむ機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も諏訪湖活用したイベント大会を開催し、諏訪湖とスポーツに親しむ機会を設けていく。</li> <li>・コース周辺のごみ拾いや水草除去を定期的に行い、諏訪湖の美化に協力する。</li> </ul>	
環境市民会議 おかや	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ヒシ除去体験事業</li> <li>②ヒシ除去作業への協力（諏訪湖創生ビジョン）</li> <li>③環境セミナー</li> <li>④おかやエコフェスタ 2022</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民</li> <li>②役員</li> <li>③市民</li> <li>④市民</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/9実施</li> <li>参加者69人 除去量2t</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により未実施</li> <li>・レイクウォーク岡谷において実施（11/4～11/10）</li> <li>再生可能エネルギーに関する展示を中心としたが、環境全般に関するクイズを行ったほ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①今後も諏訪湖の水質改善や体験を通じた啓発のため、継続して実施していく。</li> <li>③今年度は、実施できなかったが、今後も継続して実施し、啓発活動を行いたい。</li> <li>④多くの方に対する啓発活動を行うことができるため、今後も実施していきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒシ除去体験事業などを通じて、諏訪湖の現状を身近に感じていただき、私たちにできることを感じていただきたいと思います。</li> </ul>

構成員名	令和4年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果・実施内容	今後の方向性	
			か、県と連携して諏訪湖などに関する展示を行った。		
太陽工業グループ	河川愛護活動(諏訪湖アダプトプログラム)の実施 6月、9月、12月、3月(コロナ状況により判断) ・本業における排水処理における水質管理徹底 ・環境管理委員会による環境負荷低減活動 ・緊急事態対応訓練実施(廃油などの漏洩防止)  ・諏訪湖創生ビジョン推進会議、諏訪市環境委員会への参画 ・持続可能な循環型社会の実現に向けた研修を実施 ・地域学校への環境教育の実施(キャリア教育の範疇にて)	・太陽工業グループ社員  ・太陽工業株式会社経営企画部	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化(ヨットハーバー付近) ・排水設備の保全管理(異常0件/年) ・毎月の経営会議で PDCA⇒MR 会議にて報告(12回/年) ・訓練実施(2回/年)  ・会議に毎回参画 ・SDGs研修(3回/年) ・都度実施(7回/年)		
岡谷ライオンズクラブ	1. 環境市民会議おかや諏訪湖一斉清掃参加 5月29日(日) 諏訪湖ハイツ D51 前  2. 諏訪湖創生ビジョン推進会議 ヒシ除去体験事業に参加 7月9日(土) 諏訪市・初島周辺  3. 環境市民会議おかやによるヒシ取り作業に参加 7月9日(土) 岡谷市・湊  4. 環境市民会議おかや諏訪湖一斉清掃参加 10月16日(日) 諏訪湖ハイツ D51 前  5. 環境保全事業諏訪湖一斉清掃参加 3月25日(土) 諏訪湖ハイツ D51 前	1. クラブ会員及び家族会員  2. 幹事・第三副会長・  3. 会長・環境保全委員会委員長・クラブ会員  4. クラブ会員及び家族会員  4. クラブ会員及び家族会員	1. 清掃活動によりゴミが捨てられないよう環境に対する啓発活動と人心の意識向上が必要。  2. パネル学習会への参加とヒシ除去の体験  3. 収集車によるヒシ除去の量の多さの把握 体験からヒシの性質の確認  4. 約1時間諏訪湖のゴミ拾い活動。ゴミの多さから諏訪湖の環境に対する意識が必要と感じました。		
諏訪地区労働者福祉協議会	1 諏訪湖創生ビジョン推進会議への参加 2 ヒシ除去作業への協力 3 河川愛護活動等の環境整備 4 諏訪湖創生ビジョンの伝達	構成団体 構成員	1 諏訪湖創生ビジョン推進会議への参加 2 7月9日(土)ヒシ除去 役員2名参加 3 連合諏訪地区協議会 10月15日(土)アダプトプログラムによる美化活動へ連携・協力 フードドライブ実施→225個 53,225g 4 定期総会議案書への記載 役員会での報告 「諏訪湖の日」協賛広告	2023年度も2022年度と同様に活動を強化します。	